# 週間感染症情報

2018年43週　2018年10月22日より2018年10月28日まで

| | |
|---|---|
| 麻疹 | |
| 風疹 | |
| 水痘（みずぼうそう） | 1 |
| ﾑﾝﾌﾟｽ（おたふくかぜ） | 3 |
| 百日咳 | 3 |
| 溶連菌感染症 | 6 |
| 手足口病 | 4 |
| ﾍﾙﾊﾟﾝｷﾞｰﾅ | 3 |
| 伝染性紅斑 | 8 |
| 感染性胃腸炎 | 19 |
| ロタウイルス(再掲) | |
| 便ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ(再掲) | |
| 突発性発疹 | 2 |
| 伝染性膿痂疹（とびひ） | 6 |
| ヘルペス性口内炎 | |
| ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ感染症 | 2 |
| RSウイルス感染症 | 1 |
| マイコプラスマ感染症 | |
| ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ(臨床診断含む) | 1 |
| ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞA | |
| ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞB | 1 |
| ﾋﾄﾒﾀﾆｭｰﾓｳｲﾙｽ | |

感染症は少ないです。喘息が増えています。

インフルエンザBの報告がありました。厚労省によると、沖縄・三重で報告数が1.0を超えて流行期に入りました。

発熱・感冒症状で受診した場合には、インフルエンザを鑑別に診察を進める必要があります。

水痘はワクチン1回接種済みの市内育所3歳児です。2回目接種を忘れる事があるので注意が必要です。

ムンプスは疑い例で抗体検査を予定しています。

百日咳は、先週報告の市内小学1年のクラスメートとその母、倉敷市内私立中学3年生です。発熱がなく咳き込みが激しい場合は百日咳を疑い検査をして下さい。

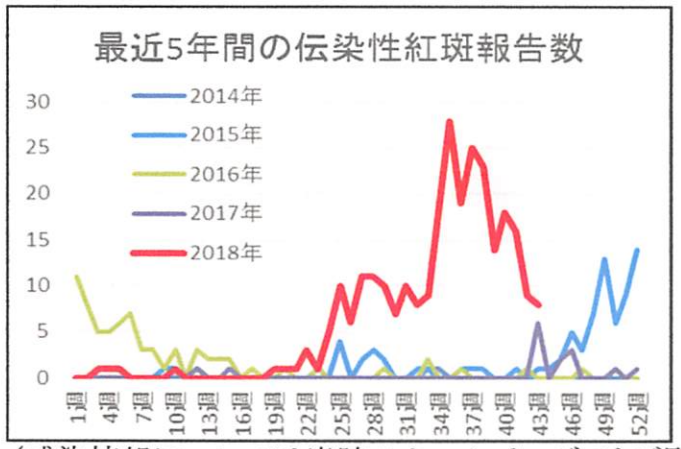
伝染性紅斑の報告は減少しました。流行の山は越えたようです。全国では報告数が増えています。

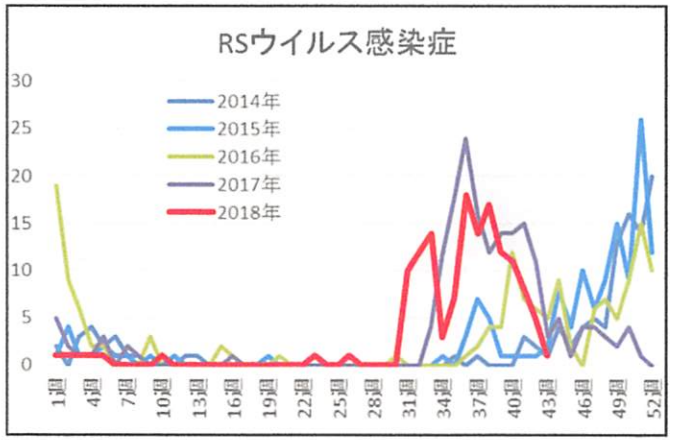
感染性胃腸炎の報告は少ないです。感染源不明のカンピロバクター腸炎の姉(16歳)・弟(14歳)例がありました。

寒くなり、これから嘔吐を主とするノロウイルスによる胃腸炎が流行します。

感冒・喘鳴の年少児でのRSウイルスの報告数は減少しました。ライノウイルスなど他のウイルスによるものと思われます。

RSウイルス感染症は、昨年より冬の感染症から晩夏から秋にかけての感染症になった印象です。




（感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。　http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/）

三宅内科小児科医院　三宅真砂子